

ヨセフ

聖徒たちと歩む聖書 ~24~
ヨセフ その2

「主の約束に 導かれて」

創世記39~41章 ヨセフ、パロの夢を解き明かす

【今日のアウトライン】

0. ふりかえり

I. 侍従長の家で

II. 監獄で

III. パロの面前で

IV. まとめと適用

ヨセフが示すキリストの型
神の時を待ち望みつつ
自分のベストを今尽くそう



0. ふりかえり



神は、
選びに応えたアブラハムを祝福され、
土地の授与と 子孫の繁栄を告げ、
その子孫から、全人類を救いに導く
メシアが誕生することを約束された。

この「アブラハム契約」は、
アブラハムから、イサク、
そして、ヤコブへと継承された。



【アブラハム契約とは？】

聖書全体を貫く、大原則

神の世界回復と人類救済計画の柱

【三つの主な条項】

①子孫の約束

②土地の約束

③祝福(地上の諸民族の祝福)の約束

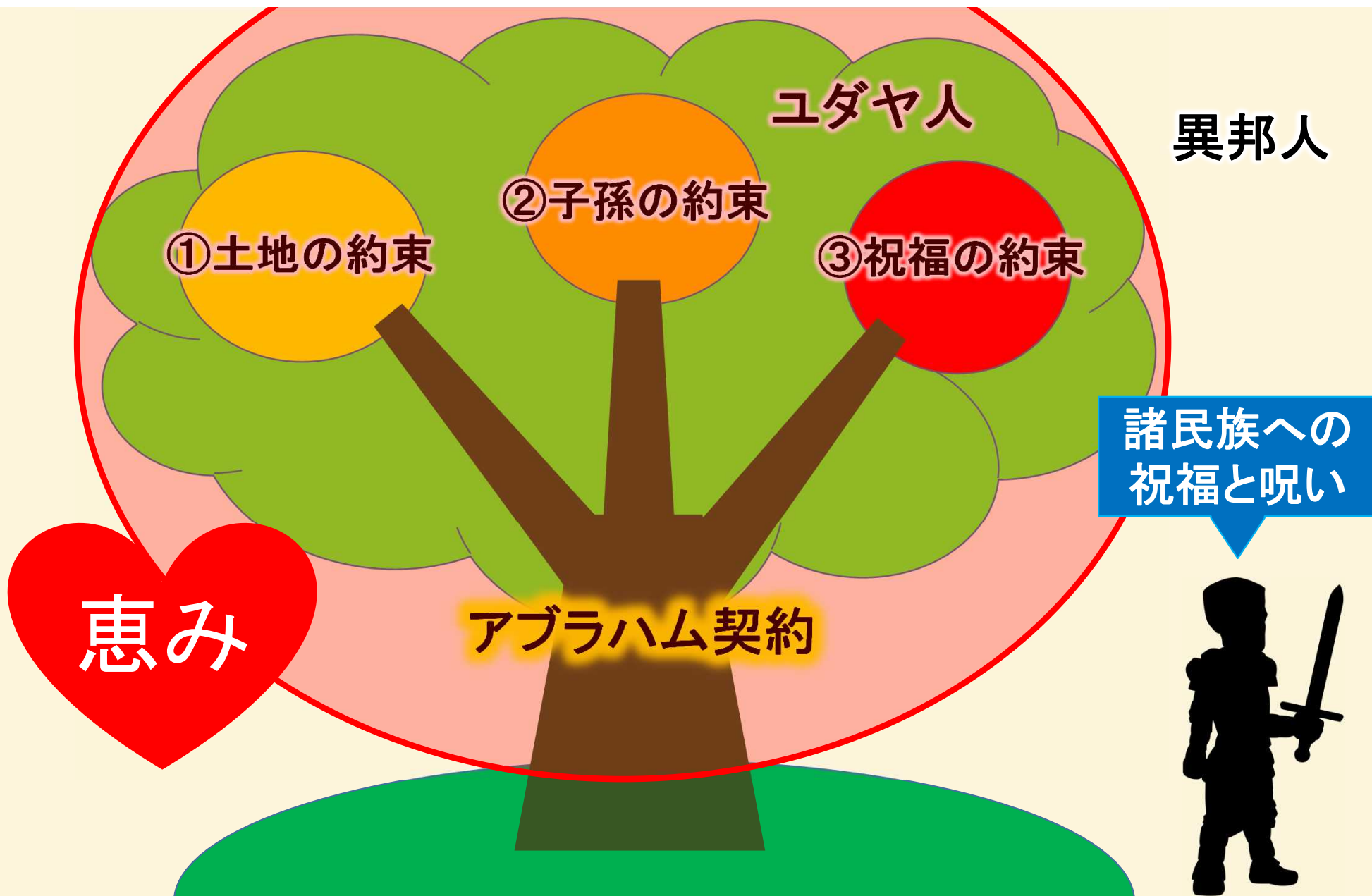
※付帯条項 ...祝福と呪い。イスラエルの生存保証。

※しるし ...割礼

ヨセフのエジプトの日々も、
アブラハム契約のゆえに守られる!!



【アブラハム契約】

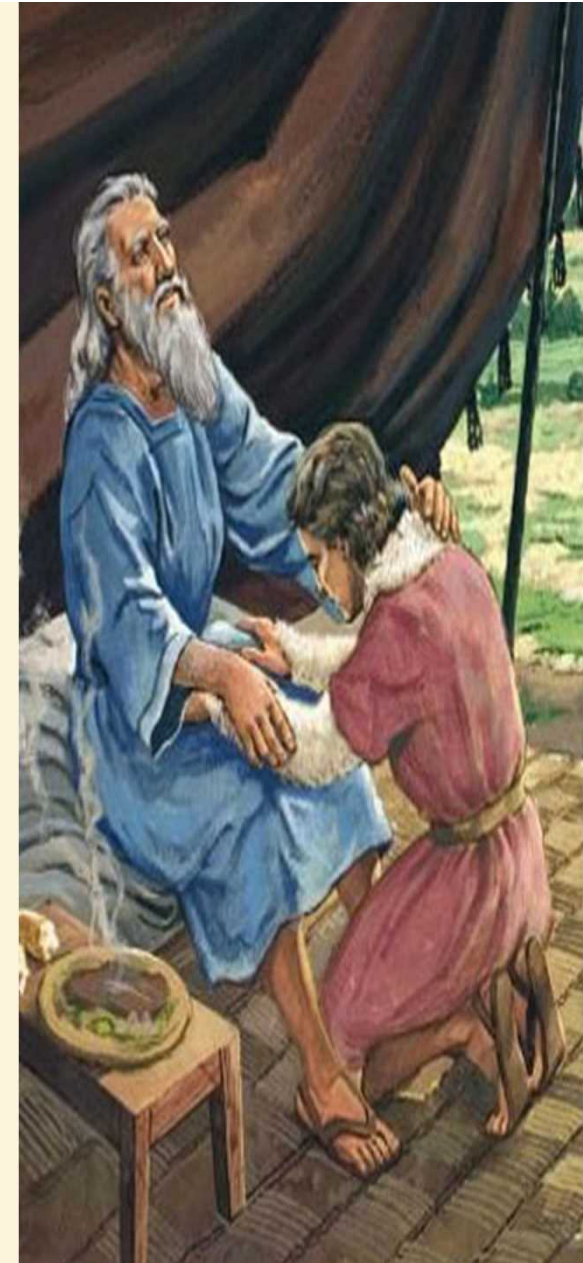


【トルドット・時代区分】

①2:4~4:26	「これは天と地が創造された時の <u>経緯</u> である」
②5:1~6:8	「これはアダムの <u>歴史</u> の記録である」
③6:9~	「これはノアの <u>歴史</u> である」
④10:1~	「これはノアの息子、セム、ハム、ヤペテの <u>歴史</u> である」
⑤11:10~	「これはセムの <u>歴史</u> である」
⑥11:27~	「これはテラの <u>歴史</u> である」 アブラハム編
⑦25:12~18	「これはイシュマエルの <u>歴史</u> である」
⑧25:19~35:29	「これはイサクの <u>歴史</u> である」 ヤコブ編
⑨36:1~8	「これはエサウ、すなわちエドムの <u>歴史</u> である」
⑩36:9~37:1	「これがセイルの産地にいたエドム人の先祖エサウの系図である。」
⑪37:2~50:26	「これはヤコブの <u>歴史</u> である」 ヨセフ編

【三代目ヤコブの生涯】

- イサク60歳の時、兄の“かかとをつかんで”誕生。
- 父イサクを欺し、兄エサウの怒りを招き、旅立つ。ベテルの地で、アブラハム契約を主より継承。
- ハランで、二人の妻を娶り、11人の子をもうける。
- 20年ぶりに帰還。神と格闘、イスラエルと命名される。兄エサウと和解。
- 約束のベテル目前のシェケムで停滞。
娘ディナの強姦、息子シメオン、レビによる大虐殺。
- ベテルでの信仰復興。
- 愛妻ラケルは、末子ベニヤミンの出生時に死去。



★レアの子★

- ①ルベン ...『息子を見よ』
- ②シメオン ...『聞く』
- ③レビ ...『結ぶ・近づく』
- ④ユダ ...『ほめたたえよ』

メシア

★僕ジルパによるレアの子★

- ⑦ガド ...『幸運』
- ⑧アシュル ...『幸せ』

★レアの子★

- ⑨イッサカル ...『報酬』
- ⑩ゼブルン ...『ともに住む』

★僕ビルハによるラケルの子★

- ⑤ダン ...『裁く』
- ⑥ナフタリ ...『争う』

★ラケルの子★

- ⑪ヨセフ ...『加える』 (取り去る)

長子権

- ⑫ベニヤミン
...『私の右手の子』
(苦しみの子)

イスラエルの
12人の息子たち



【売られたヨセフ、墮落したユダ】 創世記37～38章

- ヤコブは、愛妻ラケルの姿形見、11番目のヨセフを長子扱いしていた。
- ヨセフは、両親と兄弟が自分にひれ伏す夢を見た。
- 嫉妬に燃えた兄たちは、ヨセフに殺意まで抱き、ユダの提案で、隊商に売り渡してしまった。
- 愛息を獣に殺されたと告げられ、嘆くヤコブ。
- ユダは墮落し、カナン人を妻とする。
神に裁かれて死んだ息子の嫁と関係を持ち、争いあって二人の子が生まれてきた。



【アブラハムへの預言の成就】 創15:13～14

「あなたの子孫は、自分たちのものでない国で寄留者となり、彼らは奴隷とされ、四百年の間、苦しめられよう。しかし、彼らの仕えるその国民を、わたしがさばき、その後、彼らは多くの財産を持って、そこから出て来るようになる。」

Q:ヨセフの物語の背後にある神の計画とは？

- 墮落したカナンに同化される危機にあったイスラエルを隔離し、一つの民族として育む。

およそ150年の時を経て、神の計画が動き出す!!



I. 侍従長の家で

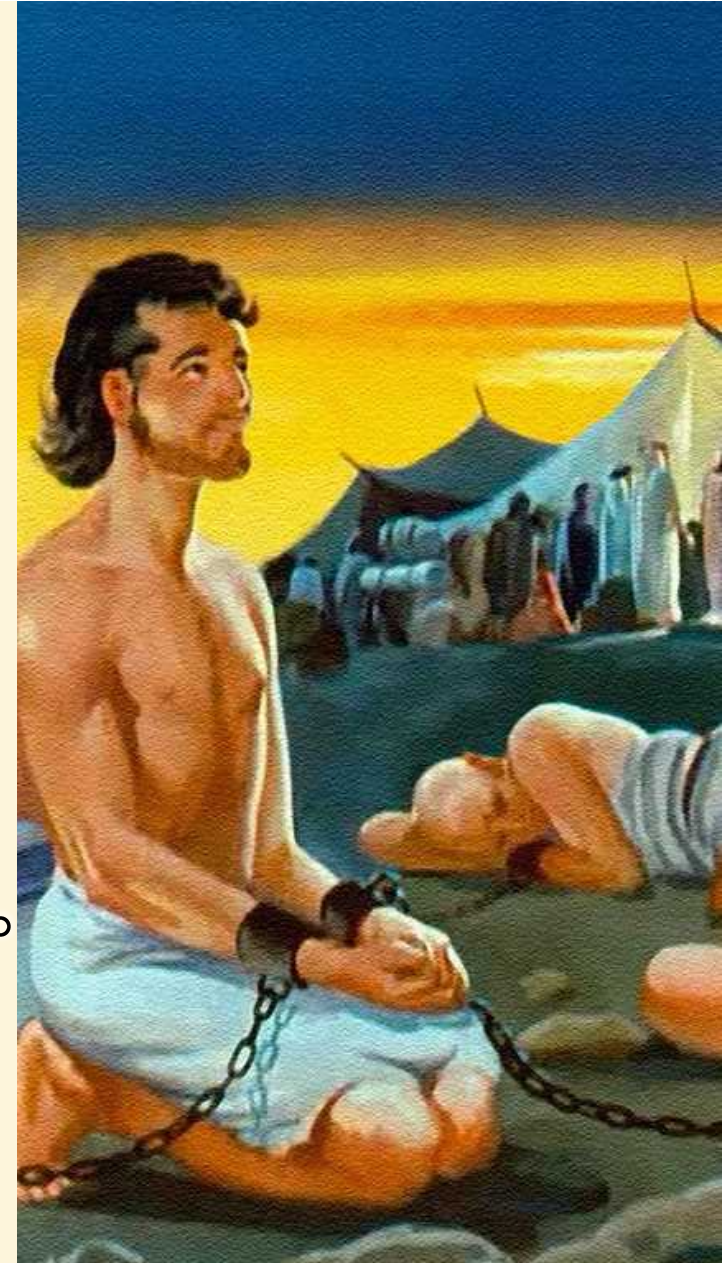
創世記39章



【エジプトに売られたヨセフ】 創 39:1

ヨセフがエジプトへ連れて行かれたとき、パロの廷臣で侍従長のポティファル*というひとりのエジプト人が、ヨセフをそこに連れて下って来たイシュマエル人*の手からヨセフを買い取った。

- * パロ(エジプト王)の側近の一人。近衛兵の長。監獄の長でもあった。
- * 祖父イサクの腹違いの兄イシュマエルの子孫。遠い親族にあたる人々。
- 主は、不信仰者をも計画の内で用いられる。



【主のヨセフの祝福】 創39:2~

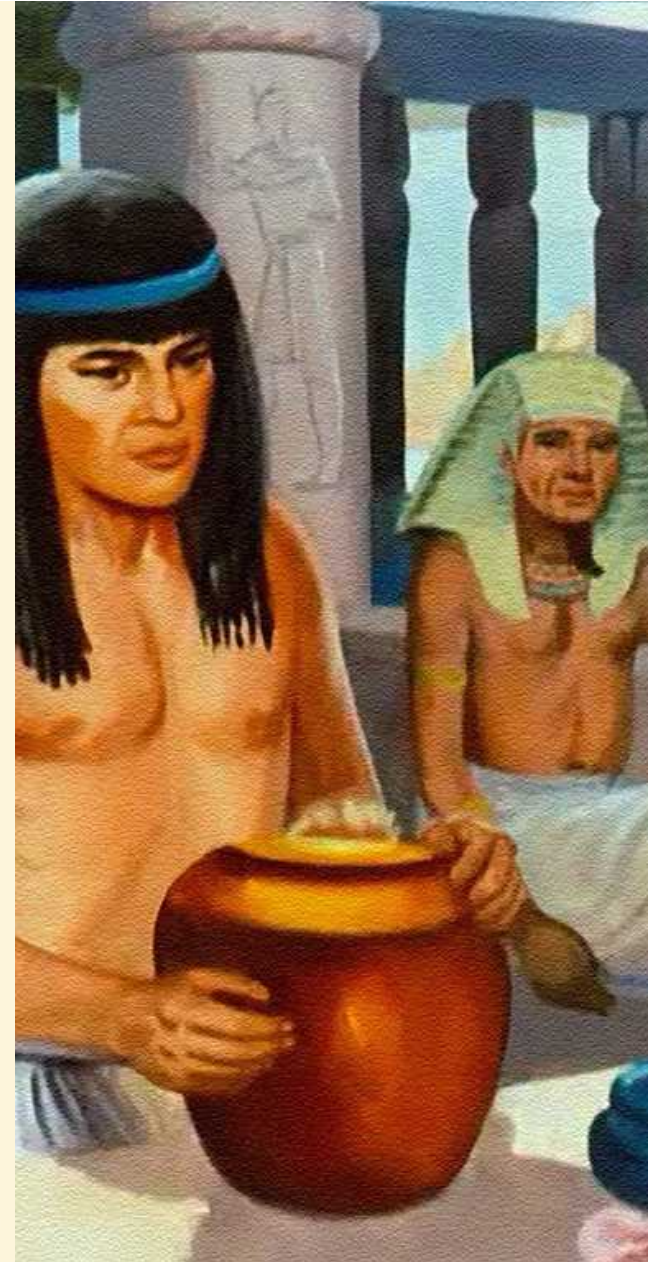
【主】がヨセフとともにおられた*ので、彼は幸運な人となり、そのエジプト人の主人の家にいた。彼の主人は、【主】が彼とともにおられ、【主】が彼のすることすべてを成功させてくださるのを見た。それでヨセフは主人にことのほか愛され、主人は彼を側近の者とし、その家を管理させ、彼の全財産をヨセフの手にゆだねた。

* 主が、奴隷のヨセフを守り導いた。

➡ 背後にあるのは、アブラハムへの主の約束。

■ ポティファルも、その祝福にあずかり、栄えた。

■ ヨセフは、主人の食事以外の全奉仕を任された。



【ヨセフへの誘惑】 創39:7～

これらのことの後、主人の妻はヨセフに目をつけて、
「私と寝ておくれ*」と言った。

*「私と寝なさい(口語訳)」 ➡女主人の命令!!

■ヨセフは、主人への忠誠を貫き、誘いを断った。
連日言い寄る女主人を断り続けたのだが…。

39:11 ある日のこと、彼が仕事をしようとして家に入ると、家の中には、家の者どもがひとりもそこになかった。それで彼女はヨセフの上着をつかんで、「私と寝ておくれ」と言った。

■女主人の罠。絶体絶命のピンチにヨセフは？



【女主人の復讐】 創39:12～

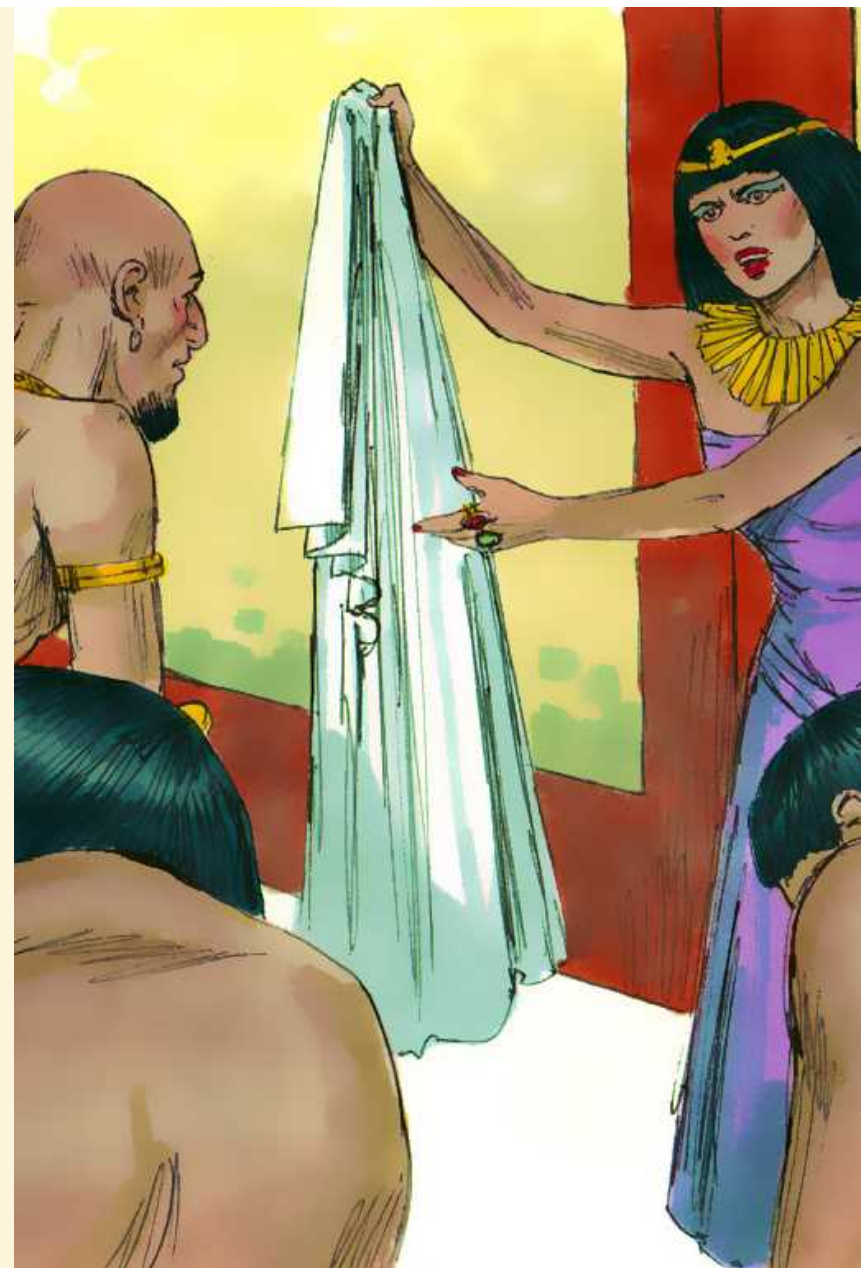
しかしヨセフはその上着を彼女の手に残し、逃げて外へ出た。

三六計逃げるにしかず!!

■ 女主人は、まず、家の僕たちに告げた。
「ご覧。主人は*私たちをもてあそぶためにヘブル人を私たちのところに連れ込んだのです。」

■ 夫ポティファルには、こう告げた。
「あなたが*私たちのところに連れて来られたヘブル人の奴隷は、私にいたずらをしようとして私のところに入って来ました。」

* 自分の誘いを断ったヨセフへの憎悪と
夫に重用されていたヨセフへの嫉妬?!



【獄中のヨセフ】 創 39:19～

■ 怒りに燃えた主人は、ヨセフを獄に入れた。

殺されても仕方のない状況だったが…。

39:21 しかし、【主】はヨセフとともにおられ、彼に恵みを施し、監獄の長の心にかなうようにされた。

■ ヨセフは、獄内の管理を任せられ、最悪の状況の中での、最善の環境を与えられた。

39:23 それは【主】が彼とともにおられ、彼が何をしても、【主】がそれを成功させてくださったからである。

インマヌエルなる主が、ヨセフと共におられた!!



Ⅱ. 監獄で 創世記40章



【二人の囚人】 創 40:1～3

これらのことの後、エジプト王の献酌官*と調理官*とが、その主君、エジプト王に罪を犯した。それでパロは、この献酌官長と調理官長のふたりの廷臣を怒り、彼らを侍従長の家*に拘留した。すなわちヨセフが監禁されている同じ監獄*に入れた。

* 毒味役。相談役。 * 食事の用意をする者。

➡暗殺者からパロを守る重要な役目の者たち。

何か、職務上重大な失態を犯したのか？

* あのポティファルは、重罪犯の獄を管理していた。

➡このことが、ヨセフの運命を変える！



【夢の解き明かし】 創40:4～

■ヨセフが、二人の囚人の付き人となった。ある朝、いらいらしていた二人に、理由を尋ねた。彼らいわく、夢を見たが、獄中では夢を解き明かしてくれる呪術師はいないのだと。

■ヨセフは、彼らに答えていった。

40:8「それを解き明かすことは、神のなさることではありませんか。さあ、それを私に話してください。」

■そしてすかさず、夢の意味を説き始めた。
➡ヨセフの主との密接な関係を示すもの。



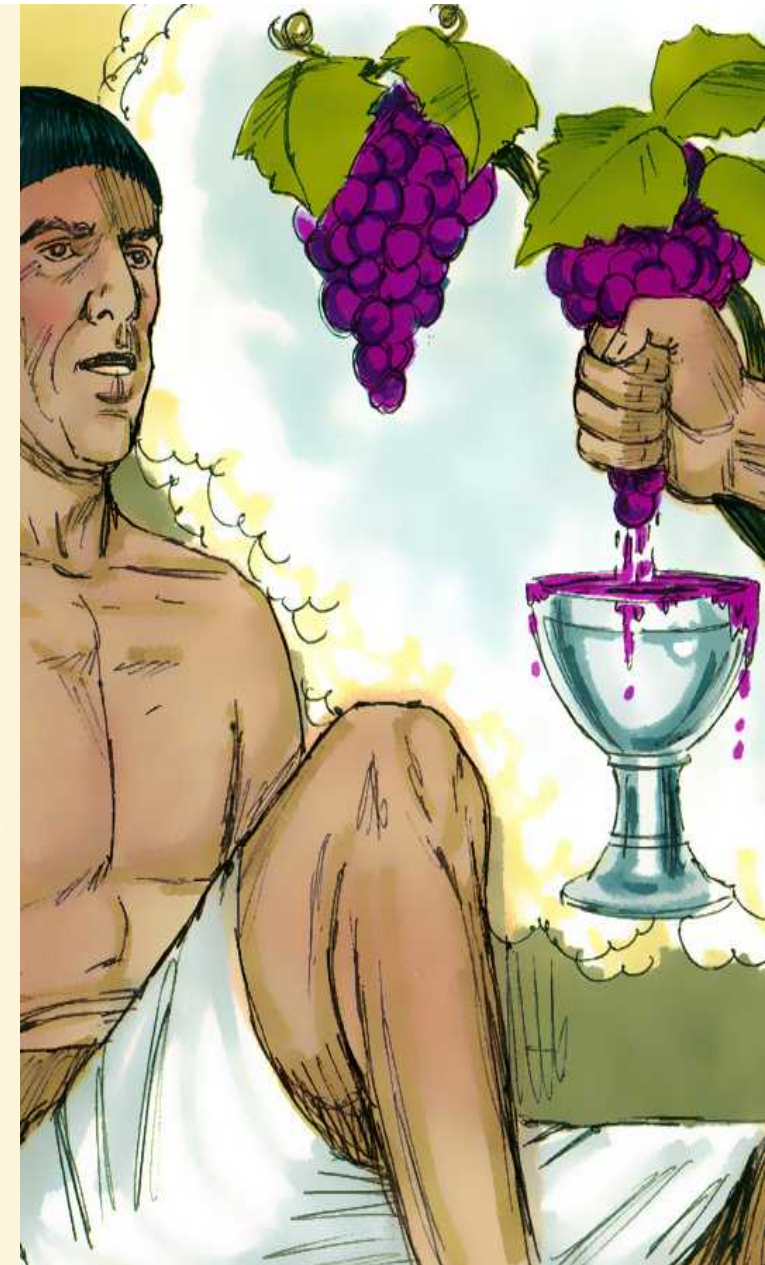
【検酌官長の夢】 創 40:9～

★夢の内容★

一本のぶどうの木から、3本のつるが芽を出し、すぐに実をつけたのを、摘み、杯に絞り入れ、パロにささげた。

★ヨセフの解き明かし★

40:13 三日のうちに、パロはあなたを呼び出し、あなたをもとの地位に戻すでしょう。あなたは、パロの献酌官であったときの以前の規定に従って、パロの杯をその手にささげましょう。



【調理官長の夢】 創 40:16～

★夢の内容★

頭上にかごが三つあり、一番上には、パロのためのご馳走が入っていたが、鳥がそれを食べてしまった。

★ヨセフの解き明かし★

40:19 三日のうちに、パロはあなたを呼び出し、あなたを木につるし、鳥があなたの肉をむしり取って食うでしょう。」



【夢の結末】

- 三日目、パロの誕生日の祝宴が催され、献酌官長と調理官長が呼び出された。献酌官長は復職し、調理官長は殺された。
- ヨセフは、検酌官長に、復職の際にはパロに、自分の釈放をとりなして欲しいと願っていた。

40:15 実は私は、ヘブル人の国から、さらわれて来たのです。ここでも私は投獄されるようなことは何もしていないのです。」
- 誰をも責めず、ただ無実を訴えたヨセフ。しかし、検酌官長は、彼のことを忘れてしまった。



Ⅲ. パロの面前で

創世記41章



【2年がすぎて】 創 41:1

それから二年の後*、パロは夢を見た。見ると、彼はナイルのほとりに立っていた。

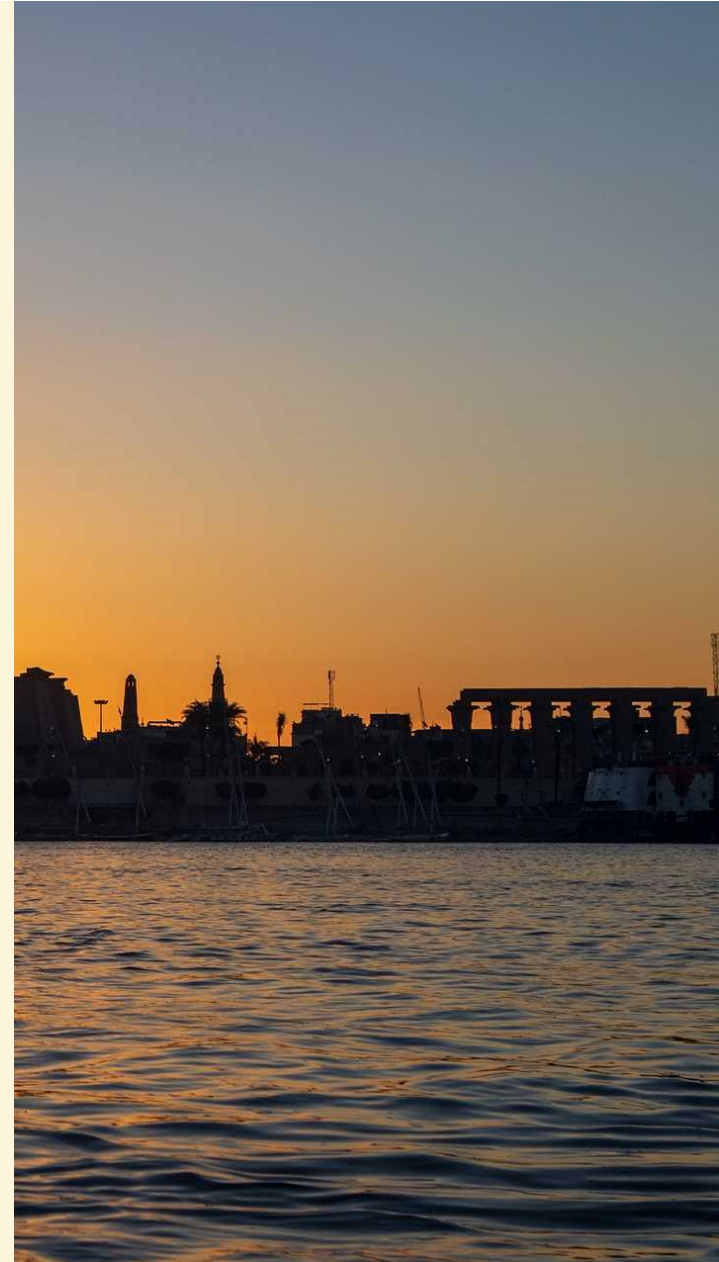
* 検酌官長と調理官長の獄中での夢の解き明かしから、2年が過ぎた。

⇒ヨセフが17歳で売られてきて、はや13年。

ヨセフは、30歳*になっていた。

(* イエスの公生涯の開始と同じ!!)

ここから、神の計画が動き出す!!



【パロの見た夢・その1】 創 41:1～4

ナイル*から、つやつやした、肉づきの良い七頭の雌牛*が上がって来て、葦の中で草をはんでいた。

するとまた、そのあとを追ってほかの醜いやせ細った七頭の雌牛がナイルから上がって来て、その川岸にいる雌牛のそばに立った。

そして醜いやせ細った雌牛が、つやつやした、よく肥えた七頭の雌牛を食い尽くした。

* エジプトを潤す大河、生命線。崇拝の対象。

* 雌牛の神 ⇒ イッシス(豊穡の神)。



【パロの見た夢・その2】 創 41:5～7

それから、彼はまた眠って、再び夢を見た。

見ると、肥えた良い七つの穂が、一本の茎に出て来た。

すると、すぐそのあとから、東風*に焼けた、しなびた七つの穂が出て来た。

そして、しなびた穂が、あの肥えて豊かな七つの穂をのみこんでしまった。

* ハムシンと呼ばれる、乾ききった熱風。



【つながったリンク】 創41:8～

■ 心騒ぐパロは、エジプト中の呪法師や知者を呼び集めたが、誰も、夢を解き明かせなかった。

41:9「私はきょう、私のあやまちを申し上げなければなりません。」

■ 検酌官長は、獄中で見事に夢を解き明かしたヨセフのことを思い出し、パロに告げた。

■ ヨセフは、身を整えられ、パロの前に出た。

■ パロの求めに対し、ヨセフはまず、こう答えた。
「私ではありません。神がパロの繁栄を知らせてくださるのです。」

➡ 神への信頼を、パロとも分かち合うヨセフ!!



不幸は不幸で終わらない!
それが神の憐み、ご計画

【解き明かしを始めるヨセフ】 創 41:25～

■二つの夢を話したパロに、ヨセフはすぐ、
夢の意味を解き明かし始めた。

「パロの夢は一つです。神がなさろうとすることを
パロに示されたのです。

41:26 七頭のりっぱな雌牛は七年のことで、七つ
のりっぱな穂も七年のことです。

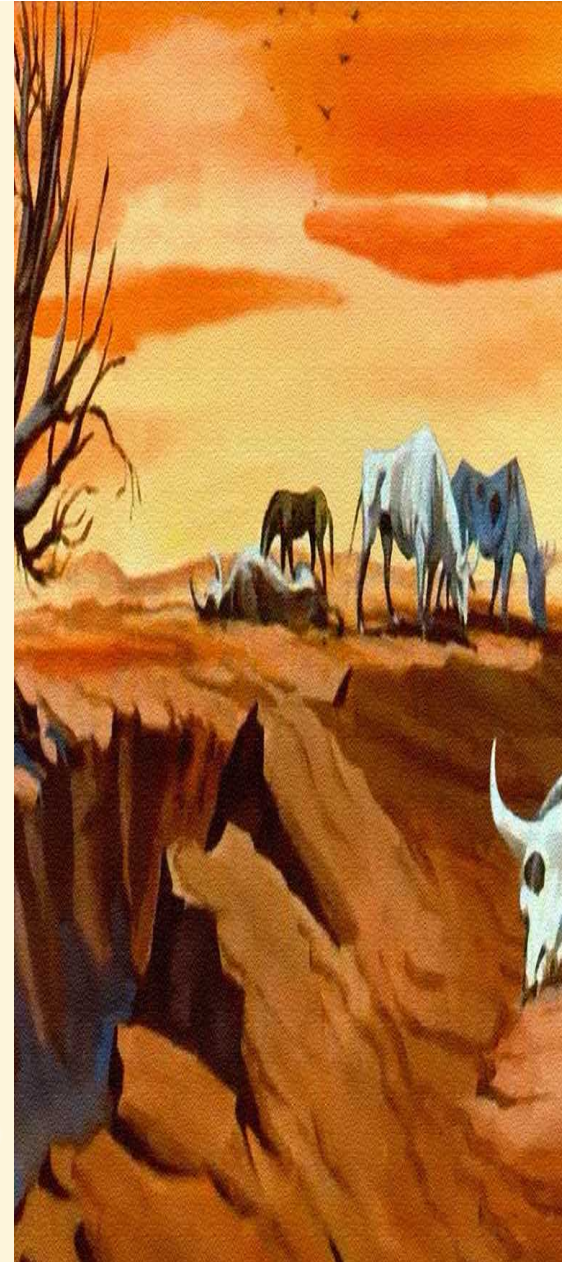
41:27 そのあとから上がって来た七頭のやせた
醜い雌牛は七年のことで、東風に焼けたしなびた
七つの穂もそうです。それはききんの七年です。」



【7年の大豊作と7年の飢饉】 創 41:29～30

今すぐ、エジプト全土に七年間の大豊作が訪れます。それから、そのあと、七年間のききんが起こり、エジプトの地の豊作はみな忘れられます。ききんが地を荒れ果てさせ、この地の豊作は後に来るききんのため、跡もわからなくなります。そのききんは、非常にきびしいからです。夢が二度パロにくり返されたのは、このことが神によって定められ、神がすみやかにこれをなさる*からです。

* 全知全能の神が、自然のすべてを支配されている。



【ヨセフの任命】 創 41:39～42

パロはヨセフに言った。「神がこれらすべてのことをあなたに知らされたのであれば、あなたのように、さとくて知恵のある者はほかにいない。あなたは私の家を治めてくれ。私の民はみな、あなたの命令に従おう。私があるあなたにまさっているのは王位だけだ。」パロはなおヨセフに言った。「さあ、私はあなたにエジプト全土を支配させよう。」

そこで、パロは自分の指輪*を手からはずして、それをヨセフの手にはめ、亜麻布の衣服を着せ、その首に金の首飾りを掛けた。そして、自分の第二の車に彼を乗せた。そこで人々は彼の前で「ひざまずけ」と叫んだ。こうして彼にエジプト全土を支配させた。

* 指輪は、パロの権威を示すもの。

■ヨセフは、パロに次ぐナンバー2の宰相の座に!!



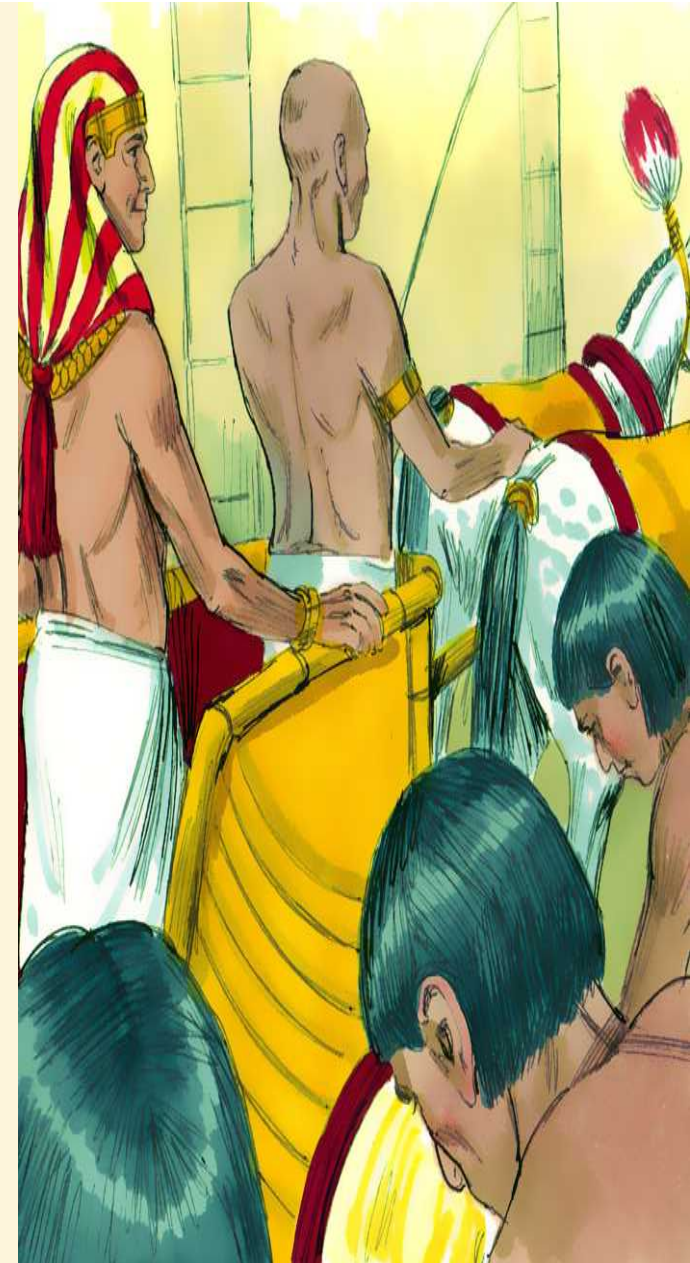
【活動を開始したヨセフ】 創 41:44～46

パロはヨセフに言った。「私はパロだ。しかし、あなたの許しなくしては、エジプト中で、だれも手足を上げることもできない。」

パロはヨセフにツァフェナテ・パネアハ*という名を与え、オン*の祭司ポティ・フェラの娘アセナテを彼の妻にした。こうしてヨセフはエジプトの地に知れ渡った。
—ヨセフがエジプトの王パロに仕えるようになったときは三十歳であった*—ヨセフはパロの前を去ってエジプト全土を巡り歩いた。

* “秘密を明らかにする者” * 太陽神礼拝の地

■ エジプトの首相としてのヨセフの働きが始まった。



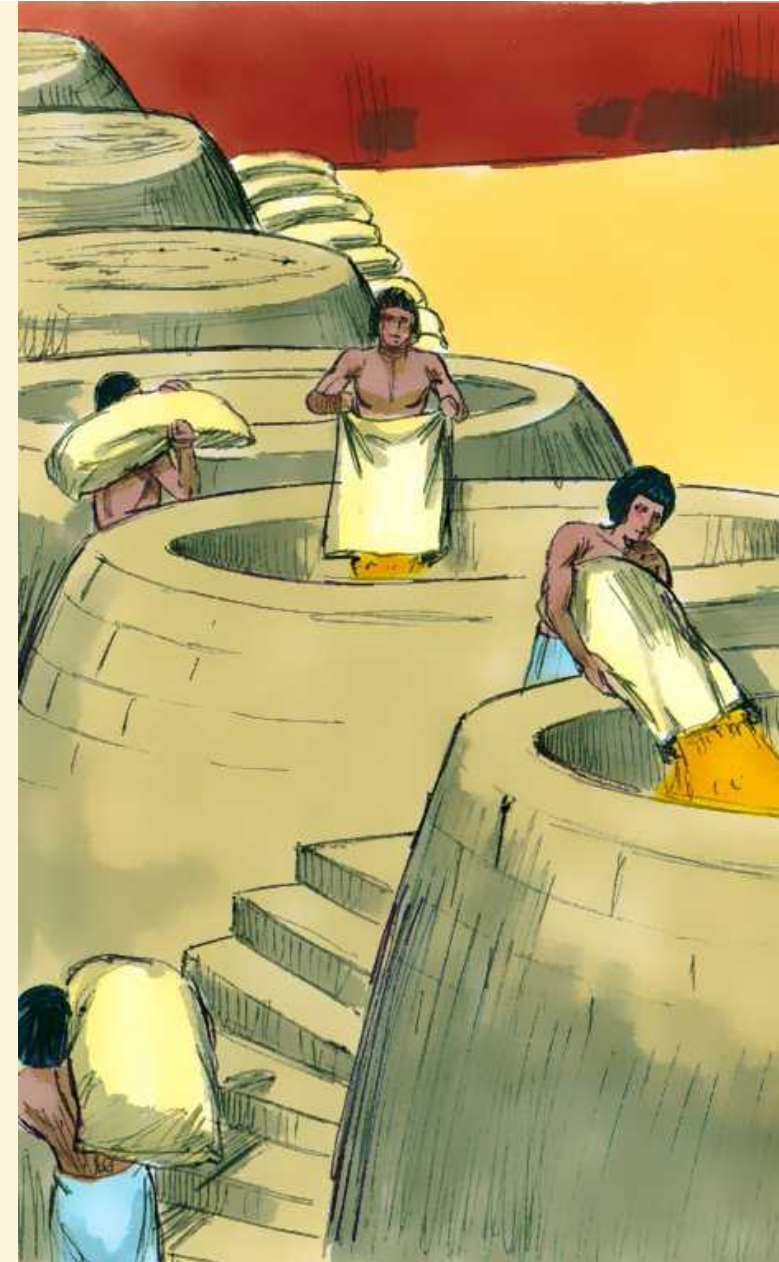
【大飢饉への備え】 創 41:48～49

そこで、ヨセフはエジプトの地に産した七年間の食糧をことごとく集め、その食糧を町々にたくわえた。すなわち、町の周囲にある畑の食糧をおのおのその町の中にたくわえた。

ヨセフは穀物を海の砂のように*非常に多くたくわえ、量りきれなくなったので、ついに量ることをやめた。

* 数えきれないほど...例)アブラハムへの約束

■ 大飢饉への準備は万端に整えられた。



【二人の子宝】 創 41:50～52

ききんの年の来る前に、ヨセフにふたりの子どもが生まれた。これらはオンの祭司ポティ・フェラの娘アセナテが産んだのである。

ヨセフは長子をマナセ*と名づけた。「神が私のすべての労苦と私の父の全家とを忘れさせた」からである。また、二番目の子をエフライム*と名づけた。「神が私の苦しみの地で私を実り多い者とされた」からである。

* マナセ(忘れる) ...ヘブル名。傷は癒された。

* エフライム(実り多い) ...ヘブル名。

■ ヨセフは、なお、約束の地を忘れていない!!



【いよいよ始まった飢饉】 創 41:53～57

エジプトの地にあった豊作の七年が終わると、ヨセフの言ったとおり、七年のききんが来始めた。そのききんはすべての国に臨んだが、エジプト全土には食物があった。やがて、エジプト全土が飢えると、その民はパロに食物を求めて叫んだ。そこでパロは全エジプトに言った。「ヨセフのもとに行き、彼の言うとおりにせよ。」

ききんは全世界に及んだ。ききんがエジプトの国でひどくなったとき、ヨセフはすべての穀物倉をあけて、エジプトに売った。

また、ききんが全世界にひどくなったので、世界中が穀物を買うために、エジプトのヨセフのところに来た。

そして次回、劇的な再会が!!



Ⅲ. まとめと適用

ヨセフが示すキリストの型
神の時に待ち望みつつ
自分のベストを今尽くそう



【ヨセフが示すキリストの影】

- 無実にも関わらず、奴隷とされ、牢獄に入れられた。
 - ➔ 罪なきキリストは、捕らえられ、十字架にかけられた。

- いつでも主が共におられた。
 - ➔ キリストご自身が、“インマヌエル(共におられる主)”である。

- 神の約束を信頼し、主に望みをおき、いつでも主に従いとおした。
 - ➔ キリストは、常に真実の方だった。律法を守り、成就された。

- 恐れることなく真理を告げた。将来の出来事を警告した。
 - ➔ キリストは、指導者の罪をも指摘し、世の終わりの裁きを告げた。

- 王の権威を帯び、それを執行する座にあげられた。
 - ➔ 昇天したキリストは、神の右に座し、王の王として再臨される。

【ヨセフを守り、導いたもの】

■ヨセフが握りしめていたのは、先祖アブラハムへの神の約束。
そして、イスラエルの指導者になるという二つの夢。

■神の見た夢が、ヨセフを守り、導き、
神が人々に見せた夢の解き明かしが、ヨセフの道を開いた。

■ヨセフには、アブラハム契約と、夢による導きが与えられていた。
私たちには、何が与えられているだろうか？

→「内住される聖霊の導き」そして「完成された聖書66巻。」

★聖書を学び、み言葉から、状況から、主の語りかけを受け取ろう!!

【神の時を待ち望みつつ、自分のベストを今尽くそう】

- ヨセフは、神の約束は絶対に成就すると信賴していた。
祖父イサク、父ヤコブの証しの上に、自らの体験を重ねただろう。
- ヨセフは、目の前のことに、誠実に全力で取り組んだ。
- 奴隸に売られて13年目、ついに道は開かれた。
ヨセフの確信は、強固にされ、次回、人生最大の山場を迎える。
- 私たちもヨセフにならい、各々の道を歩もう。
私たちには計り知れない神の時、しかしそれは、絶対にやってくる。
- 主への信賴を土台として、目の前のことに、誠実に全力で取り組もう。

「天のお父さま。

わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

- ①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、
- ②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、
- ③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

ヨセフの主(しゅ)である、あなたは、わたしたち一人一人とも、いつでも共(とも)にいてくださいます。主のご計画(けいかく)は、すべて完全(かんぜん)に成就(じょうじゅ)されます。どうか、ヨセフのような信頼(しんらい)をいただいて、今この瞬間(しゅんかん)に ベストをつくしていただけますように。守(まも)り、導(みちび)いてください。

主(しゅ)イエス・キリストの 御名(みな)によって 祈ります。

アーメン」